

○岡崎 ありがとうございます。やはりそういったいろいろな苦勞もあるでしょうけれども、楽しみもあるということで、今後ますます期待してしまうのです。それでは、保存検証ということばかりでもなく、いろいろな活用法があるわけで、南加記念ホールは私どもも使わせていただいているわけです。二村先生には後藤治先生の元でいろいろな全国の事例を見ていただいていると思います。3、4分ほど観光事例活用の側面で何かお話しただければと思うのですがいいですか。

○二村 私は、結構登録文化財に関わることが多いのですが、埼玉の旧和田家という製茶場が壊される予定だったのですが、ちゃんと価値を見直して登録文化財になりました。その時には最初から旧所有者の方に昔の製茶機械を入れて古い工場の様子を再現して欲しいという話をしていました。できた当初の昭和20年代の様子ではないのですが、登録になってから昭和30年代ぐらいの機械を一通り入れて、今、そこでイベント的にお茶を作ったりしています。私はよく静岡でも言うのですが、まずいお茶でもいい、そこにしかないものを作ってほしいと時々言うんです。ここもそういうところを非常に共感してくださったみたいで、そういうお茶を作ったりしています。宮崎駿さんが顧問をされているトトロのふるさと基金というところなのですが、すごく盛り上がって登録の記念の会に行ったときには耐震補強はしているのですが、製茶工場が壊れるのではないかとというくらい人がいました。山形県の新庄の旧蚕糸試験場などの場合は、登録する以前からそうだったのですが、建物とか敷地が広いのでそこを全部使って月に1回、k i t o k i t o マルシェというものを行っているんです。キトキトというのは蚕が歩く音をキトキトと聞いていたらしいのでk i t o k i t o マルシェとっているらしいのですが、かなり盛り上がっています。そういう観光資源といいますが、地元の人がまず愛して徐々に外に広がっていくという運用前に関わることが多いです。それから、これは話が合うかは分かりませんが、昨日、前任者の土岐さんと調査を振り返っていたのですが、今回センターが作った普及版の冊子がありますね、全くあれと同じなのですが、例えば、鳥しょ部で紹介されているものには、大三島や伯方島があるのですが、鳥しょ部に限らず産業遺産というのは、結局その土地の産業を特徴付けるものなのです。ということは、逆にいうと活用するときにこれがあそこに

あるということはこの地域はこうだったんだなということを読み解くものになる。大三島だったら製塩、米、タバコ、伯方島だったら製塩、睦月島だったら縞行商、弓削島とか小大下島だったら石灰、魚島だと漁港の港があります。その土地、土地で道案内になるべきものというのはその地域の産業を示すものということを考えることができる。そういうものを先ほどの曲田先生のお話にもありましたけれども、はね釣瓶で水を汲んで汲んだ水を畑にかけるとか、そこまでの一連の行動を子どもたちに昔の暮らしを再現させてみたらどれだけ大変だったかきつと分かります。この辺だと群でありますのでウォーキングでもサイクリングでもいいと思いますから、まず見てもらうことが必要かなと思います。その後、地域にお金を落としてもらわないといけないので、例えば、空き家の古民家を使ってトイレ兼座敷の休憩所を造るとか、そこに物産を置いてみるとか。特別なものはいらなと思うのですが、新しくトイレを造るよりは古民家を活用してもらったほうがいいだろうと思います。それが徐々に進んでいけばその地域で古い施設を使って、現在、またいろいろ造れるものがあれば造ってみて、それもその地域でしか買えないもので売ってみるということも観光的に資源になり得るのかなと思います。

○岡崎 ありがとうございます。なかなかこれは大きい、特効薬でこうすればこうなるような単純な話ではない。ただし、お話をお聞きしていると曲田先生の言われた愛されることが第一条件で観光というと先に対外的なことを思いがちだけど、実は地元の方に愛されていないといけなかったり、共通したような話を感じました。寄ってたかってそういうアイデアも出し、いろいろな活用法を考える。手触り感、関わり感がそういうラインを引いているのかなという感じで聞かせていただきました。とっておりましたら、私の役割であります時間が非常にタイトになってきておりまして、そうはいいながらもせっかくのシンポジウムでありますし、やはり冒頭で伊東先生もおっしゃられましたけれども、この調査のもう1つの大きな目的としましては文化財の底上げという非常にシビアなこともございます。そう簡単に国の重要文化財とか登録有形文化財にそうボンボンはいかないかもしれないけれども、これだけたくさん魅力あるものが目白押しの愛媛県であります。むちゃぶりますが1分でこれは文化財にしなくてはという一言だけ先生方に